

子ども発達学科教授 星 三和子

## 1. 研究活動

著書			
Confier son enfant	2011. 4	Edition Autrement, Paris, France	Bouve,C. et Sellent,C. (eds) 担当章 Les assistantes maternelles en Europe et au-delà, Japon。 pp. 174 -181.
学術論文			
保健所における心理相談員 の現在の子育て相談いおけ る役割	2012. 3	十文字学園女子大学 人間生活学部紀要第9 号 .pp.13 - 28	共著者：向井美穂、星三和子。
多機能性をもつ教育活動施 設が地域に果たす役割	2012. 3	十文字学園女子大学 人間生活学部紀要第9 号 .pp.131-142.	共著者：上垣内伸子、星三和子。
その他の雑誌			
ヨーロッパの最近の保育政 策と日本の「子ども・子育 て新システム」	2012. 3	保育情報第424号、16- 19	単著：星三和子

学会発表			
0-1歳児が示す相手に合わせたコミュニケーションの発達—子ども同士のペアの月齢差による比較検討—	2011. 3	発達心理学会第22回大会（於東京）	発表者：大竹信子、星三和子
子育て・子育て支援に関する4ヶ国共同研究（2）—社会歴史的背景—	2011. 5	日本保育学会第64回大会（於東京）	発表者：星三和子、上垣内伸子、向井美穂、塩崎美穂。
子育て・子育て支援に関する4ヶ国共同研究（3）—日本の支援課題—	2011. 5	日本保育学会第64回大会（於東京）	発表者：上垣内伸子、星三和子、向井美穂、塩崎美穂。
乳児同士の関わりに関する保育者の意識—月齢を追っての一貫性—	2011. 5	日本保育学会第64回大会（於東京）	発表者：大竹信子、星三和子
Viewpoint toward regional cooperation on child-rearing support in Japan.	2011. 7	Congress of Pacific Early Childhood Education Research Association. Kobe, Japan.	Kamigaichi,N., Mukai,M., Hoshi,M. Shiozaki,M.
Support for mothers by reactivating local community.	2011. 9	21st Congress of European Early Childhood Education Research Association.2011.9.15. Geneve, Switzerland	Hoshi,M. Kamigaichi,N., Mukai,M., Shiozaki,M.
Development of peer imitation with communicative function in 2 to 23 months old infants in day care centers	2011. 9	15 <sup>th</sup> Congress of European Society of Developmental Psychology, Bergen, Norway.	発表者：Ohtake, N. & Hoshi-Watanabe, M.
心理職が子育て支援に果たす役割 -聞き取り調査からの検討	2012. 3	日本発達心理学会第23回大会（於名古屋）	発表者：向井美穂、星三和子、上垣内伸子、塩崎美穂
講演、公開シンポジウム			
講演：L'éducatiaon de la petite enfance au Japon et les évolutions actuelles	2012. 3. 5	Ecole normale supérieure de Lyon, IFE.	
講演：Genèse et fonctionnement des lieux d'accueil enfants - parents au Japon	2012. 3. 22	Ecole normale supérieure de Lyon, IFE.	
セミナー講演：Les soins aux jeune enfants au crèches: comparaison franco-japonaise	2012. 3. 23	Ecole normale supérieure de Lyon, IFE.	

シンポジウム：Le care dans les lieux d'accueil enfant-parents.	2012. 3. 23	Ecole normale supérieure de Lyon	
---	-------------	----------------------------------	--

## 2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 ■有 □無

授業科目 保育の心理学		
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
できるだけ実際の子どもの発達の姿を視覚的に理解できるように、これまで撮影した保育園、幼稚園の子どもの映像を交えて講義をしている。授業の理解には、パワーポイントと配布資料を活用している。	ビデオ映像、パワーポイント、文書の翻訳資料、配布資料。	
授業科目 乳幼児期の心理		
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
すぐれた実践をしている幼稚園教諭と保育士の事例報告文書をもとに、子どもたちの感情の動き、発達のゆらぎをよく表現している事例を読み、討論している。ビデオ映像も含め、実際の保育のなかでの子ども理解に役立つ演習を行っている。	保育事例研究資料、ビデオ映像など	
授業科目 発達心理学特論		
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
発達心理学の方法論の最近の動向、臨床発達心理士認定科目としての内容、院生の修論内容の3つを合わせてどの要求にも合致する内容を工夫した。	単行本、学術雑誌記事などの文書。	
授業科目 発達心理学特演		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
発達臨床の基礎と実際に資するような事例研究、検査等の実習のやり方を工夫した。	事例研究症例集、発達検査。	

## 3. 学会等および社会における主な活動

日仏教育学会	現在	理事。
ヨーロッパ幼児教育学会	現在	学会誌投稿論文の査読委員。日本コーディネータ
日本発達心理学会	現在	
日本保育学会	現在	